

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2001-395057
起案日	平成17年 4月20日
特許庁審査官	鶴谷 裕二 8219 5Q00
特許出願人代理人	志賀 正武(外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1-3

引用文献1-5

備考

下記引用文献には、ディスクの回転に同期して、ディスクの偏心による影響を低減させる発明が開示されている。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-339729号公報
2. 特開平03-142721号公報
3. 特開平03-194736号公報
4. 特開平06-176378号公報
5. 特開昭61-177690号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 G 1 1 B 2 1 / 1 0

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。